
闘争委員長の決意

中国労働金庫労働組合
闘争委員長 下島 淳二

中国労金労組は、連合方針や全労金方針を踏まえ、「安定雇用」「公正処遇・均等待遇」の実現を基本スタンスとして、2014 春季生活闘争方針を掲げた。2013 春季生活闘争での継続協議課題とした項目が、この間の協議の中で解決できなかったことを踏まえると、まさに、今春季生活闘争での要求には、並々ならぬ決意を持って臨んでいる。

職場におけるアール・ワンシステム移行作業では、契約職員組合員の奮闘は大きな力となり、システムの完全移行に大きく貢献していることは自明の理である。同じ職場で働く仲間として、すべての労金労働者の雇用と生活を守る運動をより強く進めていかなければならない。

すべての組合員が、雇用形態の枠を越えて2014 春季生活闘争方針のもとに結集し、「安定雇用」や「公正処遇・均等待遇」の実現に向けて、すべての要求項目に拘りを持って、2014 春季生活闘争を戦い抜くことを闘争委員会の決意として表明する。